

姫路市教育委員会会議録（令和6年7月23日）

○ 日 時 令和6年7月23日（火）午後2時00分から

○ 場 所 総合教育センター 大会議室

○ 開 会（午後2時00分）

日程第1 会議録署名委員の指名等

日程第2 会期の決定

日程第3 議事

議案第17号 令和7年度使用 姫路市立学校用教科用図書の採択について

日程第4 その他

○ 出席者 （委員）久保田教育長、中野委員、森下委員、山下委員、角谷委員、
（事務局）平田教育次長、平山教育次長、松本教育総務部長、森学校教育部長、
太田総合教育センター所長兼育成支援課長、濱田総務課長、
角倉学校指導課長
（書記）島田総務課係長、平野総務課主事

○ 議事の内容

教育長

- ただいまから、臨時の教育委員会会議を開催いたします。
- 本日の出席者数は、定足数に達していますので、会議は成立いたしております。
- それでは、これより日程に入ります。
- 日程第1、本日の会議録署名委員の指名等を行います。
会議録署名委員は、姫路市教育委員会会議規則第13条第2項の規定により森下委員を指名します。
- 次に、日程第2、会期の決定を議題といたします。
本臨時会の会期は、本日限りとしたいと思います。
これに御異議ございませんか。

(委員)

〔異議なしの声あり〕

教育長

- 異議なしと認めます。よって提案のとおりといたします。

教育長

- それでは、日程第3、議事に入りたいと思います。
議案第17号 令和7年度使用姫路市立学校用教科用図書の採択について
事務局からこの件について説明してください。

(事務局)

- (学校指導課長 説明)
令和7年度使用姫路市立学校用教科用図書について説明をいたします。
以降の説明で、義務教育学校前期課程は小学校、義務教育学校後期課程は中学校に含めております。
小学校用教科用図書につきましては、昨年度、採択替えを行っております。
「採択に関する基本方針(6)」により、令和7年度は、現在使用している教科書と同一のものを採択するとなっております。

教育長

- それでは、令和7年度使用の小学校用教科用図書は、現在使用しているものを引き続き採択することよろしいですか。

(委員)

〔異議なしの声あり〕

教育長

- 引き続き中学校についての説明を、事務局からお願いします。

(事務局)

- (学校指導課長 説明)
本年度、中学校用教科用図書は、採択替えの年に当たります。各委員には事前に教科書見本をお届けし、内容について吟味していただきました。
本日は、「中学校用教科用図書選定報告書」を基に、選定委員会で協議・

検討した内容を、選定委員会代表の学校教育部長が報告いたします。発行者数が4者以下のものについては2者、5者以上のものについては3者推薦いたします。詳しい内容につきましては、「中学校用教科用図書 調査・研究報告書」を御覧ください。これらの資料を参考にして、「中学校用教科書目録」の中から、種目ごとに1者を採択していただきますよう、お願いいたします。

また、法定展示会での市民の意見をまとめた資料も参考にしてください。

教育長

- 説明があったように、選定委員会からの報告を順次受けます。各報告の後に審議を行い、種目ごとに1者を教育委員会の責任のもとに採択いたします。国語について報告をお願いします。

(事務局)

- (学校教育部長 国語について説明)
国語は、4者について調査・研究を行い、その中から東京書籍、三省堂の2者を推薦いたします。
2者とも、3年間を通した学びの積み重ねを意識した教科書の構成になっています。東京書籍の「てびき」や、三省堂の「学びのみちしるべ」は丁寧に作られており、生徒の学びを保証する内容になっています。
東京書籍は、文学、説明的文章、古典の教材がバランスよく掲載され、3年間を通して段階的に学びを深められる内容構成です。教材も多様なジャンルの文章と資料が用意されており、教科書を仲介として、生徒が他者と伝え合い、現代社会の課題と向き合うことを可能とする工夫が随所に見られます。二次元コードからアクセスできる朗読動画や解説動画は、学びを広げ、深めることに有効です。
三省堂は、巻頭に「思考の方法」として思考ツールの活用方法や活用すべき単元が紹介されています。脚注欄では、新出漢字や音訓など語彙の学習はもとより、関連して学べるページを掲載し、既習事項の振り返りや学びを深化させるための工夫がなされています。また、二次元コードから語彙の学習や文法の学習に活用できるデジタルドリルにアクセスできるなど、生徒が学習を積み上げやすい構成になっています。

教育長

- 各委員は御意見、御質問をお願いします。

(問)

I C T教育の促進も非常に重要になると思いますが、各教科書におけるデジタルコンテンツに関しての差、充実の度合いについて、教えていただけますか。

(答)

いずれもデジタルコンテンツは充実しています。
東京書籍は、教科書のページをもとにした朗読の動画や参考資料、作家のインタビューなどが用意されています。また、文法事項の導入にゲーム仕立ての教材があり、苦手意識を持つ生徒も楽しみながら学ぶことができるようになっています。

三省堂は、動画のゲーム活動教材が開設されています。古典の資料やワークシート、繰り返し表示できる文法や漢字のデジタルドリルなどが用意されており、効果的に学びを進めることができるようになっています。

(問) 二次元コードについて、授業中に使うことはありますか。それとも、家庭での自習を想定しているのでしょうか。

(答) いつでも自由にというわけではありませんが、学校では1人1台ずつ端末が貸し出されていますので、教員の指導のもとで授業中に確認するということが考えられます。

(問) 音声や音楽を使用しているデジタルコンテンツが多いと思いますが、授業中に各生徒が使うと色々な音が出てしまう気がします。授業で使う場合、先生が代表して使用するのでしょうか、それとも、各生徒がイヤホンをしながら使用しているのでしょうか。若しくは、各生徒が休み時間に確認しているのでしょうか。

(答) 授業中に使用する場合、各生徒がイヤホンを付けて確認している学校が多いと思います。その他、家庭で勉強する際に活用できるようになっています。

(意見) 漢文について白文や書き下し文の説明があるなど、三省堂の方が用語の説明が丁寧で分かりやすいと感じました。

(問) 東京書籍は流れや各コンテンツ間の解説論文の構成が分かりにくいと感じました。三省堂は組み立てが分かりやすく、流れがしっくりくると感じました。

例えば、竹取物語は双方で取り上げられていますが、東京書籍では前段と後段の間にある文章が要約され過ぎています。三省堂は同じ部分について、要約されているものの、あらすじとしてきちんと成立しているので、大きな流れの中で内容がつかみやすいと思います。国語は解説も大切ですが、物語を楽しむ・親しむといったところで全体像をつかむが必要になると思いますので、竹取物語では特に違いを感じました。また、自習などを想定すると、デジタルドリルは三省堂の方が使いやすいと感じました。

(意見) 話を聞く中で、デジタルコンテンツは充実度合いに加えて、使いやすさも大切であると感じました。また、三省堂の「思考の方法」という部分は、大人目線ではとても面白いと思ったのですが、中学生の目線で考えるとどうなのか気になりました。

(答) 小学校において思考ツールを学ぶため、中学校でも活用してほしいと思います。

(意見)	東京書籍は魚住さんのインタビューと解説が載っているのですが、本人による朗読のコンテンツがなかったので残念に感じました。朗読が聞けるような工夫をすると、導入の部分として、とてもよくなるのではないかと思います。
(意見)	魚住さんのインタビューの部分については、アナウンサーだったこともあり、とても興味深かったです。テクニックがまとまっていて分かりやすいのですが、やはり音として聞くことができると、さらによいものになると思いました。
教育長	○ 他に御意見はございませんか。それでは、採決をいたします。 〔 委員挙手 〕 〔採決結果：東京書籍 1 名、三省堂 4 名〕
教育長	○ 三省堂が、4 名で過半数となりましたので、国語は三省堂を採択いたします。
教育長	○ 次に、書写の採択を行います。説明をお願いします。
(事務局)	○ (学校教育部長 書写について説明) 書写は、4 者について調査・研究を行い、その中から東京書籍、三省堂の 2 者を推薦いたします。 2 者とも单元ごとに明確な問いやテーマが設定されており、生徒自身が主体的に「書く」という学習活動に取り組める構成になっています。実際の「書く」活動の手本として活用できる、デジタルコンテンツが準備されています。 東京書籍は、单元目標と振り返りの間に、学習ポイントを焦点化した「書写のカギ」が示されており、それぞれの单元で学ぶべき内容が明確になっています。黒字の手本の隣ページの朱色の文字を使って、筆脈や穂先の変化を確認できます。二次元コードから読み取る動画コンテンツは情報量が多く、手本として使う際も「くり返し」「字幕」など機能が充実しています。 三省堂は、教材ごとに、楷書と行書が比較して示され、それぞれの特徴や気を付けるポイントをつかみやすくなっています。硬筆練習ページ「書いて身につけよう」は、見開き 2 ページで使いやすく、十分な量があります。二次元コードから読み取る動画コンテンツは、上からの筆遣いに加え、横にポイントを示した画面も見ることができ、実際に毛筆で書く際の手本として、使いやすいものになっています。
教育長	○ 各委員は御意見、御質問をお願いします。
(問)	現在使われている出版社の教科書が推薦されなかった理由を、教えていただけますか。
(答)	選定委員会の中では、特に話はありませんでした。

(意見)	光村図書は、解説を読み上げる二次元コードが少なく、黙々と解説文を読む形になってしまうと思いました。一方、推薦されている２者は解説文を読み上げる二次元コードがあり、分かりやすいと感じました。その中でも東京書籍は、毛筆における筆の動きや力の加減の説明が分かりやすく、初めて書道を習う子供達にとっては使いやすいと感じました。
(意見)	字を書く機会、特に行書を使う機会が減っているので、書道の授業は貴重な機会になっていると思います。三省堂は楷書と行書が並んで載っているので、参考になってよいと感じました。
(問)	字を書く機会が減っているという状況を考えると、普段の生活へのつながりが重要になると思いますが、どちらの教科書が普段の生活へのつながりといった点で生かせるのでしょうか。
(答)	どちらの教科書も、書写の学びを生活に生かすつくりになっています。東京書籍は、デジタル時代において手書きをすることの意義を示しており、書くためのポイントを考えさせた上で書に取り組めるような構成になっています。三省堂は、毛筆だけでなく硬筆の練習ページも設けられており、学んだことをすぐに生かせるような構成になっています。
(問)	流れや方向性といった点で、小学校で活用しているものと似ている教科書がよいと思うのですが、いかがですか。
(答)	違う発行者になっても、特に問題はないと思います。
(意見)	文字を横に書く機会が増えていますが、本来、文字は縦に書くものですので、そういった部分でも書写は大切な授業だと思っています。
教育長	○ 他に御意見はございませんか。それでは、採決をいたします。 〔 委員挙手 〕 〔採決結果：東京書籍３名、三省堂２名〕
教育長	○ 東京書籍が、３名で過半数となりましたので、書写は東京書籍を採択いたします。
教育長	○ 次に、地理の採決を行います。説明をお願いします。
(事務局)	○ (学校教育部長 地理について説明) 地理は、４者について調査・研究を行い、その中から東京書籍、帝国書院の２者を推薦いたします。

2者とも単元を貫く問いを明示することで、見通しをもって学習に取り組めるようになっています。また、資料、写真など学習しやすいレイアウトで統一されています。

東京書籍は、単元のまとまりを意識して深い学びにつなげることができるよう、単元を貫く学習課題が設定されています。学習活動に反映できるSDGsをテーマとした特集ページや、現代的な諸課題に関連する資料も掲載されています。さらに、単元の最後に探究課題が設定されており、生徒が主体となって学習しやすい構成になっています。

帝国書院は、世界の諸地域、日本の諸地域の単元冒頭に、各地域で注目するテーマ・視点が「序章」として明示されており、学習の見通しが立てやすいよう工夫がなされています。学習効果が高まるよう、効果的に写真や資料が提示されています。また、章・節の問いに取り組むことで、学習の見通し・振り返りがしやすい構成になっています。

教育長

○ 各委員は御意見、御質問をお願いします。

(意見)

同じ地域について両者を比べたところ、帝国書院は色分けをして視覚的に分かりやすい形で表示されており、充実していると感じました。

(問)

地理はデジタルコンテンツの活用が重要になると思いますが、両者にはどのような差がありますか。

(答)

デジタルコンテンツはどちらも充実しており、コンテンツ数では帝国書院が最多となっています。一方、東京書籍は練習問題やワークシートが充実しています。

(問)

教員が授業を進める際に、動画とワークシートではどちらが多い方がよいのですか。

(答)

それぞれに長所はあると思いますが、社会科においては生徒がインプットしたものをアウトプットにつなげるための良質なインプットが求められることから、画像や動画が充実している方がよいのではないかと思います。

(意見)

ワークシートがあることなどから、東京書籍の方が探究的な学びにつながりやすいと感じたのですが、どうでしょうか。

(答)

姫路市においても探究的な学びを進めようとしており、特に東京書籍と帝国書院の2者は生徒が課題を振り返りながら学習を進めることができるよう工夫されていて、思考ツールも充実しています。2者において、大きな差はないように感じます。

(問)	帝国書院は日本に関するページが多いように思いますが、授業の進め方は決まっているのでしょうか。
(答)	中学校の社会科の授業では、1年生・2年生で地理と歴史を学びます。多くの学校では、世界地理の学習をしてから日本地理の学習に取り組む流れとなっています。
(問)	小学校6年生までに日本全土を学習するのでしょうか。
(答)	小学校3・4年生で市から県へ学習を広げ、5年生で日本を学ぶ流れとなっています。
教育長	○ 他に御意見等もないようですので、採決をいたします。
	〔 委員挙手 〕 〔採決結果：東京書籍0名、帝国書院5名〕
教育長	○ 5名全員が帝国書院なので、地理は帝国書院を採択いたします。
教育長	○ 次に、歴史の採択を行います。説明をお願いします。
(事務局)	○ (学校教育部長 歴史について説明) 歴史は、9者について調査・研究を行い、その中から東京書籍、帝国書院、日本文教出版の3者を推薦いたします。 3者とも、章、節、1時間ごとの課題が設定されており、課題意識を持って学習を進めることができるよう構成され、単元の終わりでは、学習した内容を活用し、時代の特色などについて考えをまとめる活動が設定されています。また、様々な視点からの資料が豊富に掲載されており、多面的・多角的に事象を捉えることができるよう工夫がなされています。いずれも二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツが充実しており、生徒の主体的な学びを深めることができる構成になっています。 東京書籍は、複数の資料を比較させる仕掛けや、対話を促して調査・考察活動の充実を図るコラムが多くあることで、生徒の思考力を育成する授業を構成しやすくなっています。また、振り返り活動では、節ごとの学習を整理したり、思考ツールやワークシートを活用したりするなど、まとめやすいよう工夫がなされています。二次元コードから、動画資料や地理・公民や他教科と関連した資料ページにアクセスすることもできます。 帝国書院は、章の問い、節の問いが明示されており、それぞれを常に意識しながら学習を進めることができます。問いとまとめの対応が構造的で、考察しやすい構成となっています。章のはじめに「タイムトラベル」が設けられており、時代のイメージを視覚的に捉えやすくなっています。単元冒頭の

二次元コードから、ワークシートや用語解説、単元に関する動画に一括してアクセスすることもできます。

日本文教出版は、1時間ごとに、学習課題に対しての見方・考え方が明示されており、時代の特色を捉えさせやすい構成になっています。「確認」や「表現」の箇所があることで、学習内容を整理し、考えを表現しやすい工夫がなされています。「地域に学ぶ」のコーナーで地域に密着した資料を多く取り扱っており、ミクロな視点の学習も行うことができます。「城下町姫路を調べる」という地域学習が設定されています。

教育長

○ 各委員は御意見、御質問をお願いします。

(問)

私たちが学生の頃と歴史認識が変わっている部分もあると思いますが、例えば黄河文明と習ったものが中国文明と表記されている本もあります。検定を通っているのでは問題はないと思いますが、いつから、なぜ、このような表記になったのか気になりました。

(答)

黄河文明、長江文明その他の地域も含めてまとめて中国文明となったようです。

(意見)

中国が国名として登場したのは、後の時代かと思いますので、後付けで文明の名が付けられたということですね。

(問)

地元に親しみを感じることも大切だと思うのですが、姫路のことを多く取り上げているのはどの出版社ですか。

(答)

姫路城は多くの出版社で取り上げられており、推薦した3者の中では、「城下町を調べる」という課題が設定されている日本文教出版がボリュームとして最も多いと思います。

(問)

歴史もデジタルコンテンツを使ってアクセスすることで学びを深めることが重要だと思うのですが、各者で差は見られるのでしょうか。

(答)

コンテンツの多い順としては、日本文教出版、東京書籍、帝国書院となっています。東京書籍及び日本文教出版は教科書の単元順にコンテンツが掲載されており、帝国書院はテーマごとにコンテンツが整理されているところが特徴です。テーマごとにコンテンツが整理されているため、帝国書院はより使いやすいと思います。

(意見)

取扱い方にもよるかと思いますが、二次元コードからのコンテンツの見やすさの順は日本文教出版、東京書籍、帝国書院かと思いました。

(意見)	帝国書院の「タイムトラベル」という発想は、変化を与えてくれてよいと思いました。
(意見)	先日、学校視察の際にこの教材を使って授業をしていましたが、タイムトラベルは想像力を盛り込みながら進められる点がよいと思いました。
(問)	教科書には掲載がないと思うのですが、授業で姫路出身の清瀬一郎先生が取り上げられることはあるのでしょうか。
(答)	どの学校がどの人物を取り上げているかといったところまで把握はしておりませんが、地域の偉人を取り上げる学習は小学校・中学校ともに行っています。
(意見)	清瀬一郎先生は近代の歴史上重要な方ですので、ぜひ授業で取り上げていただければと思います。
(意見)	様々な解釈があるかと思うのですが、東京書籍では日清・日露戦争で日本が侵略をしたかったような捉え方をしているように読めました。日本から戦争を仕掛けたような書きぶりはいかがなものか、少し気になりました。あまりよい記載の仕方ではないように思いました。
(答)	歴史観については色々な見方があるかと思いますが、教科書は全て検定済みとなっています。
教育長	○ 他に御意見等もないようですので、採決をいたします。
	〔 委員挙手 〕
	〔採決結果：東京書籍 0 名、帝国書院 4 名、日本文教出版 1 名〕
教育長	○ 帝国書院が 4 名で過半数のため、歴史は帝国書院を採択いたします。
教育長	○ 次に、公民の採択を行います。説明をお願いします。
(事務局)	○ (学校教育部長 公民について説明) 公民は、6 者について調査・研究を行い、その中から東京書籍、教育出版、帝国書院の 3 者を推薦いたします。 3 者とも、「知識や技能の習得」「思考力、判断力、表現力の育成」「主体的に学習に取り組む態度の育成」について主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容構成となっています。いずれもデジタルコンテンツが充実しており、個別の学習を支援できるよう工夫がなされています。 東京書籍は、単元に探究課題が設定されており、導入、展開、まとめの学習の流れでスムーズに課題を解決できる構成となっています。デジタルコン

テンツが豊富で、二次元コードから関連動画や資料を自由に拡大できるツール、リンク集などのコンテンツにアクセスできます。また、各章のまとめ問題がデジタル化され習熟度に応じて難易度を調節することもできます。生徒が多面的・多角的に事象を捉えることができる工夫がなされています。

教育出版は、資料付近にある「THINK」で読み取りの手がかりを、また「LOOK!」で着目点を示し、生徒が多様な資料を多面的・多角的に事象を捉えることができるよう工夫がなされています。二次元コードから、関連情報や「まなびリンク」の問題などにアクセスでき、個別最適な学びを支援できるようになっています。

帝国書院は、単元の冒頭で、学習内容をイラストから鳥瞰できるとともに、単元を貫く問いが明示され、振り返りでは、対話的な学びを促す構成で学習の深化が図れる工夫がなされています。デジタルコンテンツが充実しており、図解アニメーションや統計資料、法令集など授業外でも個別学習で学びを深めることができます。写真資料や生徒の思考を可視化できる思考ツールが多数掲載され、生徒は学習を効果的に進めることができるようになっています。

教育長

○ 各委員は御意見、御質問をお願いします。

(意見)

二次元コードという点では、東京書籍が見やすいと感じましたが、紙面と同じような内容が多かったです。紙面も含めた構成を考えると、帝国書院が一番分かりやすいと感じました。

(意見)

各者とも金融教育を取り入れているかと思いますが、用語の説明が少ないように感じました。例えば、「金融緩和」「金融引き締め」のようなニュースでよく耳にする言葉や、為替の輸出入への影響など、もう少し理解がしやすい形で掲載があるとよいと思います。

(問)

日々、新しい言葉が出てくると思うのですが、検定を通る教科書はだいたい何年前に内容を決定するのでしょうか。

(答)

令和6年に採択する教科書は、令和4年までに作成され、令和5年の検定を通過したものになります。

(問)

新しい情報が出てきた場合に、デジタルコンテンツは補足修正されているのでしょうか。

(答)

デジタル教材の更新状況は確認できておりませんが、毎年、教科書や資料集を購入する中学校が多く、各生徒が持っている端末で最新の情報にアクセスして必要な情報を取捨選択することもできます。仮にデジタルコンテンツの情報が更新されていなかったとしても、様々な情報と比較しながら授業を進めるこ

とができます。

(問) そう言われてしまうと、どんな教科書でもネットから取得する情報を活用すればよいとなってしまうと思います。例えば、令和6年に採択される教科書で考えると、令和4年に作成されたものを3年間使用とした場合、古くなると5年前の情報が掲載されていることとなります。5年間で多様な情報の更新が必要になるはずですが、その都度、ネットを活用した授業が展開されているとは思えません。このような場合は、こういった対応をされているのでしょうか。

(答) 教科書は4年ごとに改定される機会があり、検定に合格した教科書については、検定済図書の訂正手続を経ることで内容が更新されます。ただし、訂正手続を行うかどうかの判断は、発行者に委ねられています。

(意見) 教科書採択に際して、採択時に最適な教科書かどうかといった点に加えて、その後の更新の状況も合わせて示されると、よりよい判断ができるのではないかと思います。

(意見) 公民は生活に密着している部分も多くありますので、探究学習をどう深めていくかという点も重要だと考えています。帝国書院は、社会で見られる課題を段階的に追及していく「特設アクティブ公民」などの提案をされていますし、東京書籍は「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」といった活動の導入部分を示していて、よいと思いました。

教育長 ○ 他に御意見等もないようですので、採決をいたします。

〔 委員挙手 〕

〔採決結果：東京書籍0名、教育出版0名、帝国書院5名〕

教育長 ○ 5名全員が帝国書院なので、公民は帝国書院を採択いたします。

教育長 ○ 次に、地図の採択を行います。説明をお願いします。

(事務局) ○ (学校教育部長 地図について説明)

地図は、2者について調査・研究を行い、東京書籍、帝国書院の2者を推薦いたします。

2者ともA4サイズで作成され、広範囲が掲載されています。また、多色刷りの記載や鳥瞰図を取り入れ、見やすく分かりやすい工夫がなされています。歴史、公民分野に関連する項目があり、社会科の学習内容として発展させ、深めていくことができる構成になっています。

東京書籍は、写真や文字の鮮明さに留意して見やすくなっており、教科書

の学習内容を補足する主題図や資料として使用できます。適切な大きさの文字や書体を使用し、不要な凹凸や飾りをなくしたフラットデザインを採用するなどの工夫が見られ、学習に集中できるよう配慮されています。

帝国書院は、印刷は鮮明で、図・写真ともに細かな文字まで読み取りやすくなっています。地形など写真だけでは確認しにくい地点を一般化することで、理解しやすいよう工夫がなされています。国などの記載において、細かく記載された地点では、同系色の配色をしないなど、ユニバーサルデザインの配慮がなされています。

教育長

○ 各委員は御意見、御質問をお願いします。

(問)

授業で地図帳を使う際に、グーグルマップを併用することはありますか。

(答)

基本的には教科書や地図帳を使用しており、探究活動の中でグーグルマップなどを活用する機会は想定されます。

(問)

地図の上に特産物などのイラストが載っていますが、このイラストは授業をする上で役立っているのでしょうか。

(答)

イラストは特産物など意味合いを持たせて、大きさなどに配慮した上で載せてあると思いますので、授業において子供たちの学びを深めることに寄与すると考えます。

(意見)

帝国書院は私たちが子供だった頃も使用されており、色合いが昔からあまり変わらないイメージです。長年使われているといった点において、親しみやすさを感じます。東京書籍は高低差を色の変化で表現しており、分かりにくい印象を受けました。

(意見)

私も中野委員と同じような印象を受けました。東京書籍は、色の変化で高低差をはっきりと表現していて、例えば、アジア州の資料で鳥瞰図がありますが、少し怖さを感じました。そういった意見は、他にもあるのでしょうか。

(答)

どの教科書もユニバーサルデザインを採用しているため、色の配慮もなされているかとは思いますが、子供によっては、色の使い方によって怖さを感じることもあるかもしれません。

(意見)

全てのページが鳥瞰図のような色合いだと怖さもあるかもしれませんが、地理に興味を持ってもらうという点では、海底も地面と同じようになっていることを視覚的に理解でき、このページは逆に大切だと思いました。

教育長

○ 他に御意見等もないようですので、採決をいたします。

〔 委員挙手 〕

〔採決結果：東京書籍 0 名、帝国書院 5 名〕

教育長

○ 5 名全員が帝国書院なので、地図は帝国書院を採択いたします。

教育長

○ 次に、数学の採択を行います。説明をお願いします。

(事務局)

○ (学校教育部長 数学について説明)

数学は、7 者について調査・研究を行い、その中から東京書籍、啓林館、日本文教出版の 3 者を推薦いたします。

3 者とも、適正な分量で見やすく内容が精選され、主体的・対話的な学習活動を展開できるようになっています。

東京書籍は、例題や問題が細かく設定されており、スモールステップで丁寧に学習を進めやすい構成になっています。計算の決まりや性質なども、図やイラスト、具体的な問題場面などに置き換えて分かりやすく説明されています。特に重要な問題が分かるように、例題の内容も系統的に整理されています。デジタルコンテンツも充実しており、振り返りがしやすい工夫がなされています。

啓林館は、全ての単元に「〇〇の利用」の節があり、数学的な問題発見、解決の過程を意識できるように、ステップ方式の課題が設けられています。教科書の内容とデジタルコンテンツの融合により、高い学習効果を得ることができる構成になっており、生徒の興味・関心を高めながら、基礎・基本から応用まで個に応じた力をつけられる工夫がなされています。

日本文教出版は、既習内容を振り返りながら学習できるようになっており、問題解決の過程を示し、考える力や説明する力を身につけさせる構成になっています。「学びに向かう力を育てよう」では、身の回りの生活と結びつけた題材や間違いやすい問題が掲載されています。巻末のワークシートは、学習活動の記録や課題解決の過程を振り返る際に活用できるようになっています。

教育長

○ 各委員は御意見、御質問をお願いします。

(問)

教科書に掲載されている以外の問題を授業で活用することはありますか。

(答)

教員によると思いますが、教科書に掲載されている基本的な問題の後に、応用問題を活用することはあると思います。

(問)

状況に応じて教員が教科書とは別の問題を活用すると考えて、教科書採択では掲載されている問題数をあまり考慮しなくてもよいのでしょうか。

- (答) 教科書にも章末や巻末にいろいろな問題が用意されていますし、教科書以外の問題を教員が用意することも考えられますので、それらを活用して授業を展開することになるかと思います。
- (問) 昔は教科書の後ろに回答はついていなかったと思いますが、東京書籍と日本文教出版は回答がついています。回答はついているのが主流なのでしょうか。回答をつける理由は何でしょうか。
- (答) 通常は教員が授業中に答えを導くため回答はついていませんが、例えば、章末問題などには回答がついている場合が多いかと思います。デジタル教科書にも回答はついていません。
- 授業では生徒の理解度に合わせて問題を取り扱うことになるため、全ての生徒が解かなければならない問題数が教科書に載っているわけではありません。例えば、理解がゆっくりな生徒には問題数を絞って対応することもありますし、理解が速い生徒には章末問題を解いて各自で答え合わせをさせることもあります。回答がついている教科書が増えているのは、個別最適な学習に合わせた形になってきているということかと思います。
- (意見) 啓林館はどこに着目して問題を解こうとしたかを生徒に考えさせるような形で書かれており、自分で工夫しながら回答を導く機会を持つことができる点で、よいと思いました。
- (意見) 二次元コードは啓林館が最も使いやすく、考え方の解説も載っているため、つまづいた人にとっては分かりやすいと思いました。
- (問) 数学においてタブレットを使って効果的な学びを実現するという点では課題もあるかと思いますが、各教科書でデジタルコンテンツの差はありますか。
- (答) 東京書籍は、問題場面の体験や作図、実験映像などの動画、ワークシート、ヒントなどの回答に関するコンテンツがあり、コンテンツ数は3学年で約1,700となっています。啓林館は、教科書の内容の補足や例題の解説、思考錯誤が可能な図形やグラフのシミュレーション、補充問題などに関するコンテンツがあり、コンテンツ数は3学年で約1,300となっています。日本文教出版は、学習意欲を高める動画、作図方法の動画、図形や関数グラフなどのシミュレーション、統計ツールに関するコンテンツがあり、コンテンツ数は3学年で約400点となっています。
- (問) 各教科書のページ数はどのようになっていますか。
- (答) 啓林館は他の2者と比べてページ数が少なく、内容が絞られていて教師・生徒ともに使いやすいと思います。

教育長	○ 他に御意見等もないようですので、採決をいたします。
	〔 委員挙手 〕 〔採決結果：東京書籍 0 名、啓林館 5 名、日本文教出版 0 名〕
教育長	○ 5 名全員が啓林館なので、数学は啓林館を採択いたします。
教育長	○ 教科書の入れ替えを行いますので、会議はしばらく休憩します。
	(休 憩) 15 : 27～15 : 32
教育長	○ 審議を再開します。次に、理科の採択を行います。説明をお願いします。
(事務局)	○ (学校教育部長 理科について説明) 理科は、5 者について調査・研究を行い、その中から東京書籍、教育出版、啓林館の 3 者を推薦いたします。 3 者とも、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう編集されており、「探究」を強く意識した構成になっています。小中のつながりが分かりやすく掲載されており、本市が取り組む小中一貫教育の視点からも有意義であると言えます。 東京書籍は、見開き 1 時間構成で、生徒・教員双方にとって授業の見通しが立てやすい構成になっています。課題把握、課題の追究、課題の解決といった学習の流れやポイントが「見える化」され、探究的な学習に取り組みやすい工夫がなされています。3 年間で 750 の豊富なデジタルコンテンツが準備され、生徒の探究をサポートしています。 教育出版は、探究の進め方を各学年の巻頭に配置し、学習の仕方を確認できるよう構成されています。また、観察・実験における注意事項が細かく丁寧に表示されていたり、「まなびリンク」から、Web ずかん、学習ツール、動画などのデジタルコンテンツを活用したりすることができます。 啓林館は、理科の探究の流れが分かりやすく示されており、主体的・対話的で深い学びを通して、真理を求める態度を養うように工夫がなされています。二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツは、個別最適な学びや協働的な学びを支援しています。生徒が主体的に探究する際に「探Q実験」「探Qシート」を活用することができます。
教育長	○ 各委員は御意見、御質問をお願いします。
(問)	各教科書で単元の配列順が異なるのですが、授業では配列順に取り扱うのでしょうか。

(答)	基本的には配列順ですが、季節に関する内容は時期に応じて順序を入れ替えるなど各学校で配慮しながら対応しています。
(意見)	それぞれよさがあると思うのですが、1年間のブロックを構成して、それを学年ごとに繰り返す組み立て方を採用している啓林館が、最も分かりやすいと感じました。二次元コードに関しては、東京書籍は丁寧な気はしますが受動的な内容が多い印象を受けました。一方、啓林館は解説や「探Qシート」が掲載されていて、知識の習得と能動的な学習が両立でき、バランスがよいと思いました。
(意見)	啓林館は巻末に自分の考えを書くためのシートがついており、論理的思考を育みやすい点でよいと思いました。
(問)	教育出版は中学生用の教科書としては文字が大き過ぎるように思うのですが、どうですか。
(答)	基本的には問題ないと考えております。
(意見)	文字の話もありましたが、見やすさの点では啓林館が優れているように思いました。
(問)	啓林館の採択が続いていますが、他者との違いは他に何かありますか。
(答)	啓林館は学習の流れを分かりやすく示しているので、生徒が見通しを持って学ぶことができると思います。
教育長	○ 他に御意見等もないようですので、採決をいたします。
	〔 委員挙手 〕
	〔採決結果：東京書籍0名、教育出版0名、啓林館5名〕
	○ 5名全員が啓林館なので、理科は啓林館を採択いたします。
教育長	○ 次に、音楽・器楽の採択を行います。説明をお願いします。
(事務局)	○ (学校教育部長 音楽について説明) 音楽・器楽は、2者について調査・研究を行い、教育出版、教育芸術社の2者を推薦いたします。 2者とも、「話し合おう」や「学びのコンパス」のコーナーで、対話的・協働的な活動ができる構成になっています。伝統音楽に関する資料も豊富で、生徒の学びを支援しています。

教育出版は、写真やイラストが多く、生徒が興味関心を持って学習できるように工夫がなされています。主要部分の教材と選択可能なオプション部分の教材を組み合わせることにより、各学校の実態やカリキュラムに合わせた柔軟な対応ができるように配慮されています。二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツにより、歌唱の範唱、楽器の奏法などの動画を視聴したり、ワークシートに入力したりできるようになっています。

教育芸術社は、各教材名の横に「考えたいポイント」が掲載されており、課題意識を持つとともに、音楽的な見方・考え方を働かせ、深い学びに繋がるよう工夫がなされています。豊富なデジタルコンテンツでパート別の音源や創作ツールを備え、ICT機器を活用した個別最適な学びができるよう工夫がなされています。教材ごとに、目当てや音楽の要素、関係する楽曲の資料提示、オーケストラや楽器の動画などがあり、それぞれを関連付けた学習がしやすくなっています。

教育長

○ 各委員は、御意見、御質問をお願いします。

(意見)

教育出版は視覚的に読み取りやすい表現が用いられていて、分かりやすいと思いました。

記号の説明は、2者とも分かりづらいと感じました。例えば、ダルセーニョについて「セーニョへ戻る」と書かれているだけで、セーニョ記号についての読み方の説明がないため、音楽に親しんでいる生徒は分かるかもしれませんが、見慣れない生徒にとっては難しい気がします。特殊記号ですし、記号が読めないとネットで検索することもできないため、各者とももう少し分かりやすく書いた方がよいと思いました。

また、教育芸術社はピアノやピアノシモのような記号を縦に書いていますが、楽譜に合わせて左から右へ横に書いている教育出版の方が分かりやすいと思いました。

(問)

教科書の視覚的な分かりやすさは、授業において影響がありますか。

(答)

強弱記号は小学校の教科書にも掲載されているため、中学校では丁寧な説明はあまり必要ないように思います。以前は楽譜を忠実に再生することに力を入れていましたが、今は音楽をどう解釈してどう表現するかという、「思考」を大切にするようになってきています。また、授業では一人ではなく、仲間と一緒に協働的な学びとして1つの作品を創り上げていくこともあります。上手に演奏することから、音楽をきっかけとして多様なことを学びましょうという形に変わってきています。記号の意味が分かるということは利点ではありますが、必ずしもそれが必要ではなくなっています。双方の教科書において、自分なりに表現するための丁寧な記載がなされていますので、どちらも一長一短があると思います。

(意見)	日本のアニメやポップスは海外で人気があり、産業として確立していると思います。生徒も親近感を持ちやすいと思いますので、もう少し日本のアニメやポップスも取り扱っていただきたいです。
(問)	二次元コードで読み取る演奏のコンテンツは、教育芸術社の方が圧倒的に充実していると思いました。ただ、先ほどの説明のように、自分らしい表現を演奏で実現することが主であるとなると、極端に言えば、楽譜が必要ない・演奏自体を聞かせない方がよいようにも思うのですが、どうなのでしょう。
(答)	楽譜が不要というわけではなく、なぜ楽譜にこの記号が書いてあるのかなど、作曲家の気持ちになって考えたり、みんなと話し合いをしたりすることで、曲への理解がより深まり、表現力が増すことにもつながると思います。
(意見)	もちろん、楽譜どおりに演奏することが基本で、そこから発展して自分なりの表現が生まれると思います。コンテンツが充実しているのは教育芸術社になりますが、聴いた演奏に誘導されてしまうという懸念もあります。これらの演奏は、教員の考える質に見合うものなのでしょう。
(答)	しっかりと基本を学んで自分の表現に生かすという意味では、コンテンツが充実している教育芸術社の方が役に立つのではないかと思います。
(意見)	教育芸術社には創作ツールというものがあり、曲作りを体験できるのですが、実際に使ってみて新たな発見がありました。
(意見)	教育出版は、拍の取り方に当て字を使うなどの工夫があつて、音楽が苦手な子供にも配慮して、多方面から分析するという音楽本来の面白さに触れていると思いました。
教育長	○ 他に御意見等もないようですので、採決をいたします。
	〔 委員挙手 〕 〔採決結果：教育出版 2 名、教育芸術社 3 名〕
教育長	○ 教育芸術社が 3 名で過半数のため、音楽・器楽は教育芸術社を採択いたします。
教育長	○ 次に、美術の採択を行います。説明をお願いします。
(事務局)	○ (学校教育部長 美術について説明) 美術は、3 者について調査・研究を行い、その中から光村図書、日本文教出版の 2 者を推薦いたします。

2者とも、美術の学習を通して、幅広い知識・教養、豊かな情操を養う構成になっています。

光村図書は、本物の魅力を伝える教科書として実物感を大切にし、作品のよさや魅力が十分に伝えられる構成になっています。二次元コードから生徒が制作に取り組む楽しさを味わえるように、制作過程が見える「みんなの工夫」にアクセスでき、生徒が試行錯誤しながら制作に取り組む様子が紹介されています。また、技法に関する資料が別冊として添付されており、生徒の創作意欲を高めるとともに、技法を動画で確認できるようになっています。

日本文教出版は、「鑑賞の入り口」で、作品鑑賞をする際の主発問を示し、教員と生徒が造形的な見方・考え方を共有できるようになっています。「造形的な視点」では、各題材で着目させたいポイントや考えさせたい効果などを提示し、生徒が主体的・対話的な学習活動の中で主題を追究できる構成になっています。デジタルコンテンツによる鑑賞は、全方位から作品を見ることができ、解説や技法の説明など、生徒の制作や鑑賞の意欲を高める内容になっています。

教育長

○ 各委員は、御意見、御質問をお願いします。

(問)

以前は美術館の収蔵作品などが多く掲載されていましたが、最近は何の教科書も生徒作品が多く掲載されています。これは、使用料の関係でしょうか。それとも、同世代のよい作品を見ることに重点を置いているのでしょうか。

(答)

学習活動には表現と鑑賞の2種類があり、表現という部分では、生徒自身の制作活動の参考になるため、同世代の作品が掲載されています。鑑賞という部分では、作家の美術作品などが見られるコンテンツ等が用意されています。

(意見)

光村図書は、二次元コードを読み込むと作家の詳しい人物像や背景が書かれています。単に絵を見るだけではなく、描いたときの気持ちや作家の人生などを深く知ることができて、参考になると感じました。また、漫画やアニメは日本が世界へ誇ることのできる産業ですし、生徒も興味があるはずですので、もっと取り上げてほしいと思います。

(意見)

光村図書の資料は、要素が上手くまとめられていて、制作のためのツールとして使いやすいと思いました。デジタルコンテンツとして、四色分解やカラーチャートの表などがあれば、色の表現という面でもっとよい学びになると思いました。

教育長

○ 他に御意見等もないようですので、採決をいたします。

〔 委員挙手 〕

〔採決結果：光村図書3名、日本文教出版2名〕

教育長	○ 光村図書が3名で過半数のため、美術は光村図書を採択いたします。
教育長	○ 次に、保健体育の採択を行います。説明をお願いします。
(事務局)	○ (学校教育部長 保健体育について説明) 保健体育は、4者について調査・研究を行い、その中から東京書籍、学研の2者を推薦いたします。 2者とも写真、資料が多く使用されており、課題解決及び生徒が理解しやすい内容になっています。学年ごとに保健分野、体育理論に構成されているため、学習が進めやすく配慮されています。性に関する分野についても、例示や資料を掲載するなど、今日的な課題への学習をしやすい工夫がなされています。 東京書籍は、見開き1時間構成で、レイアウトに一体感を持たせることにより、生徒にとって使いやすく、同時に学習の流れをつかみやすい構成になっています。生徒の1人1台端末から資料を閲覧できるようにするとともに、豊富なデジタルコンテンツを通して、生徒の理解を促す内容になっています。その中でも、骨格や筋肉についての3D資料は、生徒の興味関心を引くものになっています。 学研は、ウェルビーイングを重視し、将来にわたってバランスよく生活していくための保健学習を意識した内容となっており、一人一人が自分自身の価値観や生き方を考えていけるよう配慮されています。自ら課題を発見し、解決していく実践力を育成するとともに、現代的な課題に対応がしやすい資料掲載や配慮がされているなど、よりよい学びを生み出す観点に重点が置かれた構成になっています。
教育長	○ 各委員は、御意見、御質問をお願いします。
(意見)	東京書籍は、二次元コードが充実していて、内容も整理されているので、分かりやすいと思いました。また、学研は体育、保健の掲載順ですが、東京書籍は保健、体育の順で掲載されており、成長の過程で必要なことを学ぶという観点で保健は重要ですので、掲載順もよいと思います。
(意見)	東京書籍は見開きで1つのテーマがまとめられていて、分かりやすいと思いました。
(意見)	性情報への対処ということで、例えば自分の画像を送るとこのような被害にあうことがあるという内容があったのですが、未成年者の性的被害にあう割合は非常に高くなっていますので、グラフなどを掲載して各者とももう少し注意喚起していただきたいと思います。

教育長

○ 他に御意見等もないようですので、採決をいたします。

〔 委員挙手 〕

〔採決結果：東京書籍 5 名、学研 0 名〕

教育長

○ 5 名全員が東京書籍なので、保健体育は東京書籍を採択いたします。

教育長

○ 次に、技術の採択を行います。説明をお願いします。

(事務局)

○ (学校教育部長 技術について説明)

技術は、3 者について調査・研究を行い、その中から東京書籍、開隆堂の 2 者を推薦いたします。

2 者とも、生活をよりよくしようとする意欲を引き出すため、多様な問題解決例を多く取り上げています。各内容の適切な箇所に二次元コードを記載し、豊富なデジタルコンテンツにアクセスできるようにすることで、深い理解や個別最適な学びの実現につなげようとしています。

東京書籍は、座学と実習のバランスを考慮したうえで、多様な問題解決例を取り上げ、個別学習、協働学習など、多様な学習形態に対応できるよう工夫がなされています。活動場面を多く取り上げ、自分で調べたり友達と比較・検討したりするための発問を設けるなど、深い学びを実現する構成になっています。プログラミングの体験ページが新設され、プログラミングの基礎・基本の定着を図る工夫がなされています。

開隆堂は、社会における技術に気づき、基礎的・基本的な知識および技術の習得を通して、社会や環境と技術とのかかわりについて理解を深められるように工夫がなされています。実践的・体験的な学習活動を通し、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見出し、課題を設定して解決を図る力を身につけることができる構成になっています。

教育長

○ 各委員は、御意見、御質問をお願いします。

(問)

紙面は開隆堂が分かりやすいと思ったのですが、デジタルコンテンツで機械音声が使われていて聞き取りにくいと感じました。これは、製品化されるまでに改良されるのでしょうか。

(答)

これはあくまで見本ですので、配布されるときにどうなっているかは、現時点では分かりかねます。

教育長

○ 他に御意見はございませんか。それでは、採決をいたします。

〔 委員挙手 〕

〔採決結果：東京書籍 2 名、開隆堂 3 名〕

教育長	○ 開隆堂が3名で過半数のため、技術は開隆堂を採択いたします。
教育長	○ 次に、家庭の採択を行います。報告をお願いします。
(事務局)	○ (学校教育部長 家庭について説明) 家庭は、3者について調査・研究を行い、その中から東京書籍、開隆堂の2者を推薦いたします。 2者ともに、豊富な資料や写真・イラストで、生徒にとって各単元を身近に感じられる工夫がなされています。豊富なデジタルコンテンツも、生徒の主体的な学びを支援しています。 東京書籍は、内容や配列を工夫し、小学校と中学校の学習の連続性を重視すると同時に、高等学校へのスムーズなつながりを促す工夫がなされています。「小学校マーク」や「他教科マーク」の表示で、小学校との系統性、他教科との教科横断的な学習につながる工夫がなされています。思考ツールを活用したデジタルコンテンツを使用し、個別最適な学び、協働的な学びに繋がり、自分と他者との意見を交流・共有し、思考を深めることができるようになっています。 開隆堂は、消費生活に必要な情報の収集・整理ができる構成が意識され、生徒が消費者の権利と責任について考える構成になっています。「自立と共生は一体」では、様々な立場の人との関わりや、多様な性など多様な自立と共生について、デジタルコンテンツを使用しながら、主体的・対話的・深い学びを実現しやすい工夫がなされています。「関連リンク」の表示で、他教科や技術分野・小学校の学習との関連部分を確認することができるようになっています。
教育長	○ 各委員は、御意見、御質問をお願いします。
(意見)	各者とも、マルチ商法など消費者被害について多く掲載されています。成人年齢が引き下げられたことも影響して、ますます若年層への詐欺被害が多発することが想定されますので、もう少し被害の例示などを増やしていただければと思います。開隆堂に「簡単に儲かる話はない」と書かれていますが、そのような話をされた時点で疑う意識が醸成されるように考えていただきたいと思います。 また、開隆堂にマララ・ユスフザイさんの国連本部でのスピーチが掲載されていますが、生徒と年齢が近く親近感が湧いて学ぶことが多いと思いますので、各者掲載の有無は異なりますが、授業で取り入れていただければと思います。
(意見)	一人ひとりが大切な存在であるということが教科書に記されているのは、非常によいと思います。また、子供の成長のページが用意されていて、子供との関わりに抵抗がある子供にとっても、自分のことであればと想像しやすく、よ

いと感じました。

(意見)

消費者教育はとても重要だと感じています。教科書に限らず、新聞記事や事例などを集めて知識や感覚をつかんでいくことが必要だと思いますので、実例を取り入れながら教育に当たっていただきたいと思います。

教育長

○ 他に御意見等はございませんか。それでは、採決に入ります。

〔 委員挙手 〕

〔採決結果：東京書籍 0 名、開隆堂 5 名〕

教育長

○ 5 名全員が開隆堂なので、家庭は開隆堂を採択いたします。

教育長

○ 次に、英語の採択を行います。説明をお願いします。

○ (学校教育部長 英語について説明)

英語は、6 者について調査・研究を行い、その中から東京書籍、開隆堂、啓林館の 3 者を推薦いたします。

3 者とも、小学校の既習事項の振り返りを丁寧に行い、校種間のスムーズな接続を意識して、「聞く」ことから「書く」ことへつなげるとともに、文法配列に配慮されています。豊かな感性を育む題材やSDGsに関わる題材が多く取り上げられており、生徒が関心・意欲を高め、考えたり伝えたり、もっと読んでみたいと思ったりする構成になっています。英語学習にとって有効な音声や動画を活用できる二次元コンテンツが、豊富に準備されています。

東京書籍は、各パートの言語活動を積み重ね、Unit Activityにつなげる構成になっており、スモールステップで学習を深めることができます。グローバル社会で生きることを意識し、海外の生活や文化を理解したうえで、尊重する心を育み、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う題材が掲載されています。学習者用デジタル教科書の文法解説が分かりやすく、主体的に学習に取り組み、個別最適な学びを実現することができるデジタルコンテンツが充実しています。

開隆堂は、単元を通してストーリーが一貫しており、目的や場面に合わせたコミュニケーションにおける表現を理解しやすい構成になっています。即興で会話活動を行うSmall Talkやリテリングを設け、基本表現を繰り返す機会を確保することで、内容の定着を図る工夫がなされています。学習者用デジタル教科書では、付箋にメモを書き込むことができます。そこにリンクを貼ることで、すぐにサイトにアクセスすることができるようになっています。

啓林館は、各Unitで、InputとOutputの二本柱で目標が設定されています。現時点では準備中ですが、学習者用デジタル教科書で本文

の内容を再現した実写ドラマを見ることができ、言語の使用場面や状況の確認に有効です。Listen&Thinkや、Let's Listenにおける「聞く」活動の充実が図られています。また、Enjoy ChattingやThink&Speakの活動を通して、即興で話す力や主体的に英語でコミュニケーションを図る態度を育成する工夫がなされています。

教育長

○ 各委員は、御意見、御質問をお願いします。

(問)

デジタル教科書の使いやすさにおいて、各者で差はありますか。

(答)

現時点では全てのデジタルコンテンツの準備ができていない発行者もありますが、説明の動画や英文の読み上げ等はいずれの発行者でも利用することができます。

中でも、東京書籍は英文をタップすることで読み上げ機能を利用できるなど、感覚的に使える印象です。デジタルコンテンツに感覚的にアクセスできることは、各ユニットの学習の流れをつかむことにつながり、個別最適な学習の実現を促すとともに、不登校児童の学習を支援するものであると思います。

(問)

英語は繰り返し学習することが習得の近道ではないかと思うのですが、繰り返して学ぶことに特化しているものはありますか。

(答)

繰り返し学ぶことは、言語習得の重要なプロセスだと思います。これまでの全体指導であれば、一緒に聞く・みんなで読むという形で終わっていましたが、デジタルコンテンツを活用することで、生徒の理解度に合わせて聞く回数を調整できますので、どの教科書においても繰り返し学ぶことができると思います。

(問)

デジタルコンテンツが充実している教科書が、適切な選択だということでしょうか。

(答)

重要な視点になるかと思います。

(問)

スマートフォンで二次元コードを読み込みましたが、開隆堂は音声のみというところが多く、文字も表示した方が分かりやすいのではないかと思います。啓林館は音声と文字の両方が表示されたのですが、スマートフォンではうまく表示されませんでした。東京書籍は、表示した際に文字を追いやすくてよいと思いました。

また、be動詞と一般動詞の説明の部分で、東京書籍は整理された形で網羅的に説明されていて、分かりやすいと思いました。

教育長

○ 他に御意見等もないようですので、採決をいたします。

〔 委員挙手 〕

〔採決結果：東京書籍 5 名、開隆堂 0 名、啓林館 0 名〕

教育長

○ 5 名全員が東京書籍なので、英語は東京書籍を採択いたします。

教育長

○ 次に、道徳の採択を行います。報告をお願いします。

(事務局)

○ (学校教育部長 道徳について説明)

道徳は、7 者について調査・研究を行い、その中から東京書籍、日本文教出版、あかつき教育図書の 3 者を推薦いたします。

3 者とも、考え、議論する道徳を追究するために、導入、中心発問、振り返りなどの場面で考えるヒントとなるキーワードや発問例が書かれています。デジタルコンテンツの充実に努めており、朗読音声や挿絵イラストなどに加えて、導入や終末場面で使える関連資料や動画が用意されています。

東京書籍は、全ての学年を通して、「いじめ問題」などの現代的課題が多く取り扱われており、生徒が現代社会の課題について考えられる構成になっています。巻末に「自分の学びをふり返ろう」のシートがあり、学期ごとに道徳の学びを振り返り、自身の学びを客観的にみることができ工夫がなされています。全ての教材で、二次元コードから朗読音声やワークシート、あらすじ漫画、デジタル心情円など多彩なデジタルコンテンツにアクセスできるようになっています。

日本文教出版は、各教材の冒頭に学びのキーワードが示されています。末尾には 2 つの発問例が示されており、1 時間の授業の中で、「気づく」から「考える・議論する・深める」、さらに「見つめる・生かす」の 3 ステップで学びを深められる構成になっています。ユニット「いじめと向きあう」では、いじめの事例を直接的に扱う教材と違う視点から間接的に考える教材で構成されており、生徒たちが、自分ごととしていじめに向きあう工夫がなされています。

あかつき教育図書は、各学年に「いじめ」に関する直接的及び間接的な教材を配して、「自立」「思いやり」「家族」「生命」などの道徳的価値との関わりの中でいじめを許さない心を育てる構成になっています。3 学年とも現代的課題を重点的に取り扱っています。巻末付録として、学習の記録という振り返りシートがついており、生徒は自分自身の成長を客観的に振り返るとともに、教師にとって評価の材料として生かすことができる工夫がなされています。

教育長

○ 各委員は、御意見、御質問をお願いします。

(問)

1 年間で全てのコンテンツを使用していますか。

(答)

道徳は年間 35 時間が組まれています。兵庫県には独自の教材があり、それ

を使って人権課題を3時間以上学習するようお願いしています。学校ごとに生徒に学ばせたい重点目標を決めており、その重点目標に応じた課題を多く取り入れた年間計画が組まれていますので、全てのコンテンツを使用するかどうかは学校によって異なります。

(問) 実際には、何割ぐらいのコンテンツを使用していますか。

(答) 道徳の内容項目は22項目ありますが、全ての項目について必ず1時間以上学ぶことになっています。内容項目の使用数は発行者によって異なりますし、学校がどの内容項目に重点を置いているかによるところもありますが、教科書に沿った形でほとんどのコンテンツを使っていると思います。

(問) 多少の加重はあるかと思いますが、まんべんなく深く、項目はカバーされているという理解でよいですか。

(答) そのとおりです。

(問) 資料に関して、Wordで出力するものとGoogleドキュメントで出力するものに加えて、PDFで出力するものがあると思うのですが、学校現場でPDFは必要なのでしょうか。

(答) 資料をそのまま使用する場合もありますが、学校ごとに生徒に書かせたい内容が異なりますので、加工しやすいWordのようなシートを使用することが多いと思います。

(問) 親が参加することになるようなレポートはありますか。

(答) 小学校では兵庫県独自の教材「こころシリーズ」を使用しており、その教材を持ち帰って家族と一緒に読み、親の感想を記載して学校へ提出しています。中学校でも、持ち帰って親と一緒に読むというような活動をしているところはあると思います。

(問) 学んで感じたことを振り返る機会は、大切だと思います。デジタル化するとコンパクトに納められるというよさはあるのですが、振り返りの点では、紙の冊子に自分でまとめるという作業は重要ではないかと思いましたが、いかがですか。

(答) 学びの過程を振り返るという点では、ノート1冊にまとめる方が生徒たちに有効だと思います。ただ、教員がすぐに確認して生徒へ返却することが難しい状況も見受けられます。ファイルで提出する学校の中には、3年間分をまとめて綴じているというところもあり、3年間の学びを振り返ることができます。

(答)	現在も日本文教出版を使用していますが、選定委員会でも学習の振り返りという面では非常によいという話がありました。教員が作成したワークシート等で学習した場合、ノートに貼り付けて活用している学校もあると聞いています。
(問)	いじめの未然防止という意味で、いじめについて向き合う時間を持つことは非常に重要だと思います。どの教科書もいじめを取り扱っているのですが、例えば、傍観者の存在について文章で説明しているものと、図だけで解説しているものがあるなど、それぞれに特徴や差はありますか。
(答)	各者ともにいじめは、現代的課題の中でもトップに挙がっています。日本文教出版は、直接的ないじめの場合でどう考えるかということと、客観的な視点で「いじめ」という問題について考えるというユニットを設けていて、特徴的だと思います。
(問)	いじめに関する単元は各者とも設けられていると思うのですが、日本文教出版のユニットは他者の単元と何が異なっているのでしょうか。
(答)	どの出版社も単元的にまとめられていますが、日本文教出版はユニットとして見開きにまとめられている点が特徴的だと思います。
(問)	見開きでまとめられたユニットの効果は何ですか。
(答)	他では図などで示されているのですが、日本文教出版はいじめについてどういう考え方を持って向き合えばよいかを言葉でしっかりと示している点がよいと思います。
(意見)	話のまとまりという点では、日本文教出版と東京書籍は、テーマが書かれているページに次へつながる内容も盛り込まれていて、構成が似ていると思います。一方、あかつき教育図書は説明と問はあるものの、次へつながる内容が書かれていないので、生徒が考える時間を教員が別に用意しなければならないと思います。
教育長	○ 他に御意見等もないようですので、採決をいたします。 〔 委員挙手 〕 〔採決結果：東京書籍 2 名、日本文教出版 2 名、あかつき教育図書 1 名〕
教育長	○ 過半数に達する教科書がないため、再度協議を行います。何か御意見はありますか。

(意見)	日本文教出版は、道徳ノートがある点が1つの特徴だと思います。道徳は正解を決めるのではなく、考えたり、気持ちを想像したりすることが第一の目的だと思いますので、考えたことをノートにまとめるという部分で有効だと考えます。マララさんのスピーチも取り上げられているので、ノートを活用して意見を交わしていただきたいと思います。
(意見)	いじめの取扱い内容を見て、東京書籍がよいと思いました。
(問)	道徳ノートがない場合は、どのようになりますか。
(答)	二次元コードを読み込んで、タブレット上で入力をして課題などを提出する形になります。教師側もデジタルコンテンツを活用して、集約しやすいという利点もあります。
(問)	文章を集約する場合、文字数が膨大になるような気がしますが、大丈夫でしょうか。
(答)	ノートがついていない教科書については、二次元コードを読み込んだものを教員が印刷して配布している場合もありますし、デジタル上で提出させた上で管理まで行うことも可能です。
教育長	○ それでは、再度採決をいたします。 〔 委員挙手 〕 〔採決結果：東京書籍 2 名、日本文教出版 3 名、あかつき教育図書 0 名〕
教育長	○ 日本文教出版が 3 名で過半数のため、道徳は日本文教出版を採択いたします。
教育長	○ これで、令和 7 年度使用中学校用教科用図書についての採択が終わりました。ここで 5 分間の休憩を取りたいと思います。事務局から連絡はありますか。
(事務局)	○ (学校指導課長 説明) この後審議していただく、各学校から申請のあった一般図書、拡大教科書の一部を並べております。あわせて、各高等学校が新たに使用したい教科書を並べておりますので、休憩の間に御覧ください。
教育長	○ では、休憩の時間を取ります。休憩後の開始時刻は 17 時 11 分とします。 (休 憩) 17 : 06～17 : 11

教育長	○ それでは、審議を再開します。高校についての説明を、事務局からお願いします。
(事務局)	○ (学校指導課長 説明) 各学校から申請のあった学校教育法附則第9条による一般図書について、審議をお願いいたします。特別支援学級設置学校長及び書写養護学校長からの申請書を一覧にしたものです。
	○ (総合教育センター所長 説明) 選定については、保護者の意見を参考にして、校長・学級担任、特別支援コーディネータの先生方と検討しています。
教育長	○ 各校で、一人一人の障害の程度に合わせて選定しているということであり、申請どおり採択してはいかがでしょうか。
(委員)	[異議なしの声あり]
教育長	○ 全員賛成と認め、原案どおり採択といたします。
教育長	○ 引き続き、事務局から説明をお願いします。
(事務局)	○ (学校指導課長 説明) 令和7年度使用文部科学省著作教科書について説明します。文部科学省著作教科書(通称☆印本)は、文部科学省が代表著作者です。この教科書は、特別支援学校及び特別支援学級に在籍する児童生徒が使用することができる教科用図書になっており、毎年採択を行う必要があります。
	○ (総合教育センター所長 説明) 今年度は、小・中学校で、現在26冊を使用しています。すべての☆印本が使用できますように採択をお願いします。
教育長	○ 文部科学省の著作本であり、各教科1種しかありませんので、全て採択してはどうでしょうか。
(委員)	[異議なしの声あり]
教育長	○ 全員賛成と認め、原案どおり採択することとします。
教育長	○ 引き続き、事務局からお願いします。

(事務局)	○ (学校指導課長 説明) 令和7年度使用検定教科書の「拡大教科書、点字教科書」の給与につきまして、先ほど採択されました全ての小、中学校用教科用図書について拡大教科書と点字教科書の採択をお願いいたします。 ○ (総合教育センター所長 説明) この種の教科書については、必要とする児童生徒が、いつ姫路市の学校へ転入してきても対応できるように、また、姫路市の児童生徒が、そのような本を必要とした場合にも速やかに対応できるように、全ての学年において使用できるよう採択をお願いいたします。
教育長	○ 事務局の提案どおり、採択してはどうでしょうか。
(委員)	[異議なしの声あり]
教育長	○ 全員賛成と認め、原案どおり採択することとします。
教育長	○ 引き続き、事務局から説明をお願いします。
(事務局)	○ (学校指導課長 説明) 最後に、市立高等学校及び市立特別支援学校（書写養護学校）高等部の教科書採択について説明いたします。 高等学校につきましては、各学校が科目ごとに文部科学省検定済教科書について、調査研究資料を作成し、その資料をもとに、校内で組織した選定委員会で協議検討し、選定した教科書を教育委員会へ申請する形をとっております。 各校とも、新たに採択したい教科書を含め、来年度使用したい教科書を記載しています。前年度から引き続き使用する教科書については、学校ごとに、「以下、継続使用で需要票第1表対象外のもの」という欄に記載しています。 新たに採択したい教科書は、姫路高校3冊、琴丘高校1冊、飾磨高校0冊、書写養護学校は0冊となっており、選定理由の欄に黒い丸印を付しております。全て、現行の学習指導要領に基づいた検定本からの選定となります。 以上、市立高等学校及び書写養護学校高等部の教科書の採択について御審議をお願いいたします。
教育長	○ 各委員の方、御意見、御質問はございませんか。
教育長	○ 各学校で、科目ごとにしっかりと調査研究し、各学校の生徒にあったものを選定されておりますので、申請どおり採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(委 員)	[挙 手]
教育長	○ 全員賛成と認め、申請どおり採択することとします。
教育長	○ 以上で、教科書の採択は全て終了しました。
教育長	○ 事務局から何かありますか。
(事務局)	○ (学校指導課長 説明) 御審議いただき、ありがとうございました。本会議の資料につきましては、 全て回収させていただきますので、そのまま机上に残しておいてくださいますようお願いします。
教育長	○ それでは、日程第4 その他に入りたいと思います。 ○ 事務局から、何か報告、連絡事項はありませんか。
(事務局)	[特になし]
教育長	○ 以上で本日の議事日程は全て終了いたしましたので、本日の会議を閉会いたします。

○ 散 会 (午後5時17分)